



県立春日部高等学校(定時制)

～生徒の成長物語～

卒業生

社会の形成者として必要な資質を備えた主権者

4年間の目標

- ◆ 卒業時の進路未定者30%未満
- ◆ 卒業後の正規雇用の比率30%以上
- ◆ 出席率90%以上
- ◆ 「授業が分かる」生徒の比率80%

進路指導

- ◆ 進路講演会
- ◆ 面接指導
- ◆ 進学補習
- ◆ 模擬検査(SPI等)

教育相談活動

- ◆ スクールカウンセラーによる迅速な対応
- ◆ スクールソーシャルワーカーによる外部関係機関との連携
- ◆ 校内外の特別支援コーディネーターによる相談、外部人材による特別支援教育巡回支援
- ◆ サポステとの連携
- ◆ 学級担任による二者面談、三者面談

生徒指導

- ◆ いじめ、暴力、周囲に迷惑をかける行為は絶対許しません
- ◆ 登校時の校門指導、授業中の巡回指導、下校指導をします
- ◆ 落ち着いた環境で授業をしっかり受けられます
- ◆ 保護者との連携により、欠席・遅刻・早退をなくすように指導しています

4年生

- 卒業後の進路の実現に向け、小論文を書けるようになり、面接でしっかり受け答えができる
- 部活動、学校行事ではリーダーとして下級生に役割を分担し、指導できる
- 社会の一員として、地域に貢献する心構えができる

3年生

- 部活動、学校行事では諸課題を明らかにし、解決する体験を積む
- 将来の進路について明らかにし、勉強する意義を理解する
- 周囲に思いやりを持ち、組織のミッションを共有できる

2年生

- アルバイトを積極的に体験し、礼儀、責任感を身に付け、お金の大切さを理解し、感謝されることの素晴らしさを知る
- 将来の職業について考える
- 部活動、学校行事に参画し、下級生の面倒をみる

1年生

- 遅刻、欠席をせず、規則正しい生活を送る
- 授業をしっかり聴き、ノートをとる習慣を身につける
- 食事をきちんととり、健康管理をする
- 部活動、学校行事に参加し、協力してやりとげる体験をする

県教委の事業

- ◆ 「学習サポーター配置校」東京理科大学生による学習支援
- ◆ 「多文化共生推進校」日本語が十分でない生徒への補習や授業中の個別指導
- ◆ 「地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業」
- ◆ 「共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業」

特別活動

- ◆ 生徒会活動
 - 対面式、新歓、部活動紹介、生徒総会、予餞会等の企画・運営
- ◆ 学校行事
 - 春高祭、生活体験発表会、体育祭、球技大会も、生徒が運営
- ◆ 部活動
 - 陸上、バスケット、サッカー、卓球、バドミントン、ボランティアの各部が、夜10時半まで活動

給食による「食育」

- ◆ 日常の食事に関心を持ち、バランスのとれた食事の大切さを伝える
- ◆ 地場産を使用したメニュー、行事食、郷土料理等を提供し、地域や文化に関心をもってもらう
- ◆ 食を通して豊かな心と好ましい人間関係が育つよう指導する